

境町ボランティアセンター広報誌

第29号

発行 境町ボランティアセンター
事務局 境町大字長井戸1681番地1
境町社会福祉協議会
電話0280(87)2525
ここにこ

さかい ボランテ

ボランティア(自発的奉仕者)をフランス語ではボランテ(喜びの精神)といい、ボランティア精神を表わした名称です。



県庁 25 階展望ロビー (木彫: 語らない森 作: 吉田正雄氏)の前にて

ボランティア連絡協議会 日帰り研修旅行!

令和6年9月4日(木)

台風一過の楽しい1日



弘道館正門(重要文化財)と左近の桜

ボランティア連絡協議会(ボラ連) 日帰り研修報告

ボラ連交流会に参加して

朗読ボランティアすばる
坂本 啓子

8月末から台風の影響ではっきりしない日が続いており、交流会当日も心配していましたが、雨も止み青空が広がり、暑い一日となりました。年に一度のボラ連研修及び交流会に参加した37名の会員と共に、県庁や弘道館を見学しました。県庁の最上階からの眺めの美しさ、弘道館では建物や庭木のすばらしさにも驚かされました。
那珂湊市場での会食、そして干し芋店で食べた紅いもジェラートはおいしく、心も胃袋も満たされました。



2階県政シアターにて

県庁見学

境町シルバーハビリ体操指導士会
関根 啓子

9月4日、境町ボランティア連絡協議会研修及び交流会に参加し県庁、弘道館を見学しました。

県庁では、6階の防災センターの部屋に案内され、2011年3月11日の東日本大震災のビデオを見させて頂き、当日の震災を思い出し涙で見ました。次に、隣の災害対策室に行き、知事席が中央にあり、行政機関の席に名札が置かれてあり、ちょうど私の座る場所は、警察本部長の席でした。ここからすばやく災害の情報を集めて、対策や指導をする場所のようでした。
貴重な所を見学させて頂きありがとうございました。



6階災害対策室の様子

弘道館見学

わーくすクラブ
鈴木 紀子

水戸弘道館は、江戸時代末期に水戸藩主徳川斉昭によって作られました。正門や正庁は重要文化財に指定されており、正庁は広くて色々な展示がしてあります。その中の一つに新紙幣の渋沢栄一にちなんだ展示物もありました。

建物の中はとてすずしく、子供のころ一家に扇風機が一台しかなくても、生活出来ていた頃を思い出し、緑側の板は、靴下がひっかかる、すばり*がささるような板でなつかしかったです。

また梅が有名との事ですので、花の時期に行けば花見も楽しめるかなと思いましたが、とても楽しい一日でした。
※山陰地方の方言でささくれのこと



弘道館正門(重要文化財)にて